

# AOBA PHARMACY



AOBA PHARMACY

### あおば薬局

〒635-0022  
奈良県大和高田市日之出町 11-10  
TEL.0745-23-6003



### あおば薬局 大福店

〒633-0067  
奈良県桜井市大字大福 238-11  
TEL.0744-44-1535



### みどり薬局

〒635-0022  
奈良県北葛城郡川合町河合町穴間 84-8  
TEL.0745-57-2110



患者さんの暮らしによりそうために  
くすりの専門家をめざしています



 あおば薬局

一般社団法人 奈良保健共同企画

〒635-0022 奈良県大和高田市日之出町11-10 TEL.0745-23-6003

あおば薬局 

## ごあいさつ



当社は奈良県中部を中心に運営している調剤薬局です。

全日本民医連に加盟し、地域の人々により充実した医療を提供する“非営利協同”を掲げております。

私たちは全日本民医連の一員として、処方箋調剤業務だけでなく、病院・診療所との連携や在宅訪問を行うことによって常に安心してお薬を服用して頂けるよう、最大限に努力して調剤業務を行っております。

私たちは平成29年4月より「有限会社」から「一般社団法人」へと法人形態を変えてスタート致しました。これによって「社長の薬局」から「地域みんなの役に立てる薬局」になりました。

薬局の利益は、一人の社長や株主に分配されるのではなく、より質の高い職員の育成や薬局の設備など、地域の患者様に喜んでもらえることに使われます。

そのような薬局だからこそ、住みよい街づくりを皆さんと一緒にできるのだと思います。

日本は今、医療・介護・福祉において多種多様な課題に直面しており、今後私たち薬剤師は、より一層の「努力」をしていかなければなりません。

「地域で選ばれる薬局になること」

「患者さまに寄り添える薬剤師であること」

そのためには、まずは当社で勤務している薬剤師はじめ、調剤事務・その他スタッフひとりひとりの「成長」が必要だと考えております。私は、知識・調剤スキルやコミュニケーション力だけでなく、「相手を思いやる心＝人間力」を育てる環境整備を心がけております。また、それは私ひとりではできないことではなく、当社職員がいてくれるからこそできる取り組みです。私たちとともに医療人として地域医療に貢献して下さる方をお待ちしております。

一般社団法人 奈良保健共同企画  
理事長 藤田 憲一



## 事業内容①



<処方箋調剤> くすりの専門家として、いつでも「安全」「安心」「信頼」の薬物治療を提供

### 何より「安全」が第一

調剤することだけが薬剤師の仕事ではありません。薬剤師は、患者さまに「健康」をお届けする仕事です。

患者さまの体質やアレルギー歴、お体に合わなかったお薬などを記録して、服薬の安全性を確保するのはもちろんのこと、複数のお薬を処方する際には、飲み合わせが悪くないか、薬学的視点からもチェックするようにしております。

### 適切なアドバイスで「安心」を提供

薬局には、身体の調子が悪い方が来られます。患者さまは、それぞれに悩みや不安を抱えていらっしゃいます。私たちはお薬の説明をするだけでなく、『いくつもの医療機関で薬をもらってるけど大丈夫?』や『錠剤が飲みにくい』など患者さまの疑問や不安をお伺いし、専門知識に基づいてきめ細やかに为您解答いたします。



### そして「信頼」される薬局へ

私たちは地域のみなさまに「信頼」していただける「かかりつけ薬局」を目指します。複数の医療機関で受診されている場合でも、かかりつけの薬局を決めておかれると、お薬の重複や相互作用(飲み合わせ)を簡単に確認することができます。

そして、いつも同じ薬剤師に対応させて頂く「かかりつけ薬剤師」として『自分のことならよく分かってきている薬剤師が欲しい』場合は、遠慮なくご相談ください。例えば『病院に行くべきかどうか?』など、なかなか医師に相談できない場合でも、気軽にお越し頂ける場所でありたいと考えております。

また、あおば薬局は、健康や介護に関する相談などにお答えする「まちかど相談薬局」として、地域の窓口となっています。『介護保険を使いたいがどうすればよいですか?』や『介護の不安や悩みの相談にのって欲しい』などのさまざまな疑問にお答えできるよう、日々知識研鑽を心がけております。

さらに自治体とも協力して、地域の「お薬勉強会」に参加するなど、薬局以外でできることにも積極的に取り組んでおります。

## 事業内容②



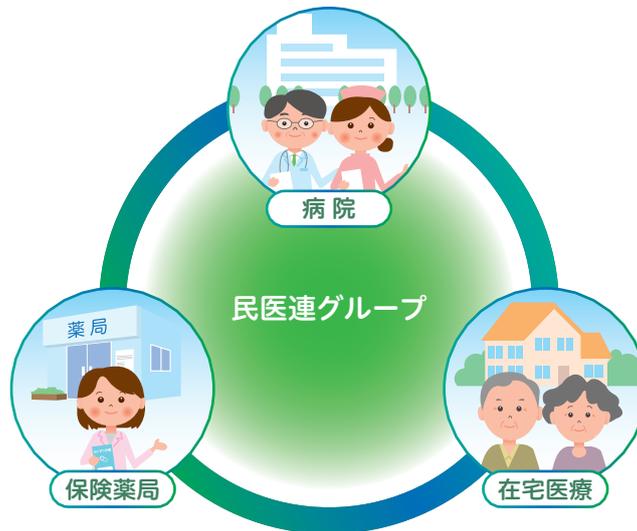
### 在宅医療 ～患者さまに健康をお届けします～

国が構築を進めている2025年開始予定の「地域包括ケアシステム」に向けて、「在宅医療」という言葉が近年広まってきましたが、私たち全日本民医連グループは、何十年も前の診療報酬のない時代から「訪問サービス」を行っております。

「誰もが平等に医療を受けられるように」という考えを軸に、私たちは患者さまのお宅へ足を運んでおります。当然お薬をお届けするだけでなく、「副作用が出ていないか」「薬の効果がしっかりと出ているか」などを見るために、血圧や脈拍数を測ったり心音を聞かせて頂くこともあります。

通院困難な患者さまを訪問することで、このような服薬指導を行うことはもちろん、何気ない会話の中から気になる情報を得た場合には、適切なアドバイスを行うようにし、患者さまの健康サポートができるよう取り組んでおります。

また、あおば薬局では門前の総合病院との連携も密に取り、ドクターや看護師はじめ、地域のケアマネジャーとも協力体制を取っております。さまざまな視点から見守ることで、患者さまが健康な生活を送れるようにサポートしております。



## スキルアップ



### チーム医療を軸に ～多職種連携～

あおば薬局は、他の医療機関との連携を図り、より深く地域医療に貢献できるよう努めています。中でも、往診患者さまに関わっておられる看護師の方との話し合いが多いです。

医学的観点と薬学的観点から患者さまお一人お一人の状態を確認し、治療の必要性やお薬の種類・投与量についてなど方針を決めるようにしております。

また、患者様のコンプライアンスを高められるよう、さらには日常生活においても少しでも過ごしやすくなるよう相談をしております。



### レジデント制度 ～薬局・病院 両方の視点を学ぶ～

あおば薬局では民医連グループ内の病院・診療所と連携し、入社後「保険薬局での外来処方箋調剤」「病院での病棟業務」どちらも学べる環境を整えております(2年間ずつ)。民医連だからこそ可能とされている制度です。「薬局の視点」「病院の視点」両方をもって患者さまと向き合い、在宅医療を学ぶことで「より深く地域医療に携わる」ことを目的としております。

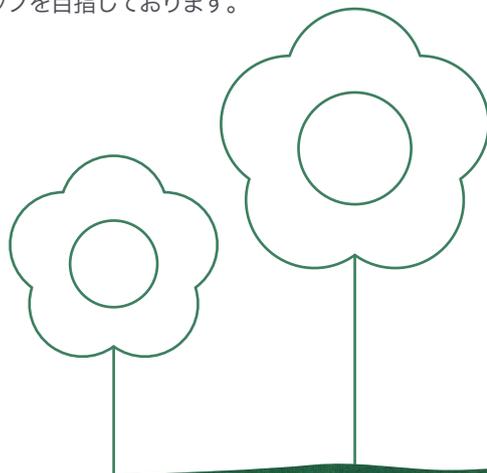
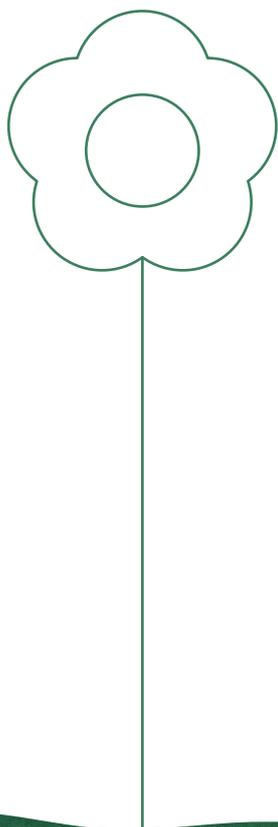
### 本物の薬剤師に成る

今後薬剤師は、ますます専門領域の知識を求められるようになります。

薬剤師にしかできない「薬物治療」を医療現場でどのように活かすのか？

そのため、日々の業務はとても重要です。

「ただ処方箋の通りに調剤すれば良い」のではなく、「処方箋から患者さまの状態をどこまで読み取るのか?」「患者さまが求めていることは何なのか?」私たちは人を相手に仕事をするので、患者さまの生活背景をしっかりと見つけて問題の本質は何かを見極めながら、相手の立場に立って物事を考えることが求められます。あおば薬局では常にこの考えを軸に、薬剤師としてのスキルアップを目指しております。

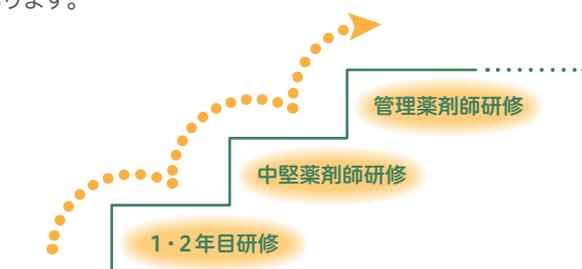


# 研修制度



## 仲間とともにステップアップできる研修制度

実務面では「レジデント制度」を導入し、薬剤師業務の向上を図っております。その他にも民医連では、「1・2年目研修」「中堅薬剤師研修」「管理薬剤師研修」などの各種研修会が定期的で開催されます。県ごとや近畿ブロック内の仲間が集まる機会としても重宝されており、みんなで情報交換できる場にもなっております。



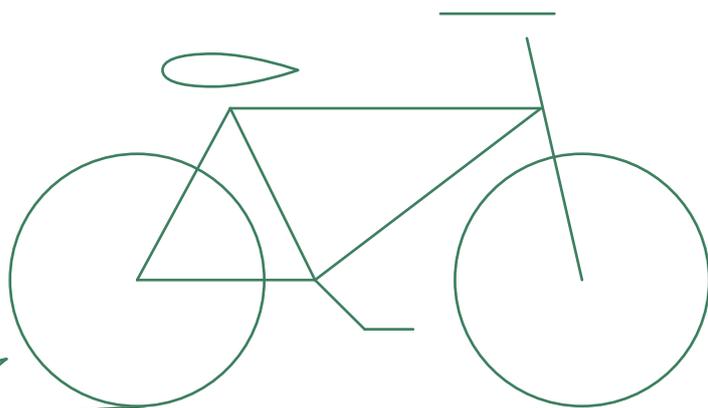
また、あおば薬局では近隣病院での研修にも参加し、他の職種の方々とも交流を図っております。これらはすべて、医療人としての基本的な姿勢・薬局の日常業務・薬物治療および疾患についての基本、さらに地域の医療連携について学ぶことを目的としています。

## 病院研修

保険調剤薬局では触れることの少ない注射剤や病棟服薬指導など、違った環境でチーム医療など多くのことを学びます。

## 学習会への参加

新薬や新たに使用するようになった薬について、製薬メーカーの方に来ていただいで学習会を開いております。また各種の学会・講演会・学習会・研修会にも各自参加して、日々の業務に役立てております。



## 先輩の声



### 橋本 尚佳

(摂南大学卒/入社3年目)

私は学生の頃から土庫病院やおおば薬局でお世話になっていました。自分の経験も踏まえて、患者さまのお役に立ちたいと思い薬剤師を目指しました。在宅訪問の際に、服薬カレンダーを工夫することによって患者さまがお薬をきちんと服用できるようになり、治療の効果が現れた時は本当に嬉しいです。おおば薬局はたくさんの患者さまが来られるため忙しい薬局ではありますが、スタッフ皆が患者様のことを一生懸命に考えている薬局です。かかりつけ薬剤師制度により、ひとりひとりの患者さまに対して担当薬剤師が付く時代になっていくので、自分を頼ってくれる患者さまをたくさん増やしていきたいと思います。



### 原田 優

(大阪薬科大学卒/入社3年目)

私は大学時代の実習でおおば薬局にお世話になりました。その時に、薬局の雰囲気や先輩たちの人柄、人間関係等が自分に合っていると感じて入社を決めました。おおば薬局は近隣に病院や診療所が多くあり、毎日さまざまな患者さまが来局されるので、とても勉強になります。出会ったすべての患者さまに「おおば薬局に来て良かった」と思って頂けるように頑張ることが私のやりがいとなっております。今後、患者さまはもちろんのこと、おおば薬局の仲間や地域の医療従事者、実習で来られる学生など、関わったすべての方々との繋がりを大切にできる薬剤師を目指します。



### 新谷 冴香

(京都薬科大学卒/入社1年目)

私は学生時代におおば薬局でアルバイトをしていました。おおば薬局の雰囲気やスタッフの方々の人柄に魅かれて就職を決めました。おおば薬局は処方箋枚数も多く、科目も多岐に渡るのでたくさんの知識を吸収できることも大きな魅力です。また、とても活気のある薬局で、社長はじめスタッフみんなの距離が近く、いつも楽しくお話しさせて頂いています。さまざまな研修を通して他法人の同期とも交流できるので、毎回良い刺激を受けています。当面の目標は、知識・経験をしっかり身につけ、おおば薬局の特徴でもある在宅業務に関われるようになることです。

